



環境試験方法－電気・電子－
第 2-14 部：温度変化試験方法（試験記号：N）

JIS C 60068-2-14 : 2025
(IEC 60068-2-14 : 2023)
(JSA)

令和 7 年 8 月 20 日 改正

認定産業標準作成機関 作成・審議

(日本規格協会 発行)

一般財団法人日本規格協会 電気分野産業標準作成委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	岩 本 光 正	東京科学大学名誉教授
(委員)	加 藤 有利子	一般財団法人電気安全環境研究所
	鈴 木 義 夫	一般社団法人電気設備学会
	辻 勝 也	一般社団法人日本電気計測器工業会
	西 原 敏 之	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・ 相談員協会
	馬 場 旬 平	東京大学
	松 木 隆 典	一般社団法人送配電網協議会
	南 裕 二	東芝エネルギーシステムズ株式会社
	本 吉 高 行	一般社団法人電気学会
	若 月 壽 子	主婦連合会
	綿 貫 宏 樹	一般社団法人日本電機工業会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 23.2.21 改正：令和 7.8.20

担 当 部 署：経済産業省イノベーション・環境局 国際電気標準課
(〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1)

官 報 掲 載 日：令和 7.8.20

認定産業標準作成機関：一般財団法人日本規格協会
(〒108-0073 東京都港区三田 3-11-28 三田 Avanti)

審 議 委 員 会：電気分野産業標準作成委員会（委員長 岩本 光正）

この規格についての意見又は質問は、上記認定産業標準作成機関にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに見直しが行われ速やかに確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	1
4 記号	2
5 一般	2
5.1 温度変化のある実環境条件	2
5.2 温度変化試験の計画	3
5.3 試験のパラメータ	3
5.4 試験の目的及び選択	4
5.5 各試験温度に対するさらし時間又は浸せき時間の選択	4
5.6 移し換え時間の選択	4
5.7 温度変化試験の適用限界	5
6 初期測定及び最終測定	6
6.1 一般	6
6.2 初期測定	6
6.3 最終測定	6
7 試験 Na：温度急変試験	6
7.1 試験の概要	6
7.2 試験手順	6
7.3 後処理	12
8 試験 Nb：定速温度変化試験	12
8.1 試験の概要	12
8.2 試験手順	13
8.3 試験サイクル	15
8.4 後処理	16
9 試験 Nc：二液槽温度急変試験	17
9.1 試験の概要	17
9.2 試験手順	17
9.3 試験サイクル	17
9.4 後処理	18
10 試験報告書に記載する情報	18
附属書 A（参考）不適切な厳しさによる潜在的な結果	20
附属書 B（参考）異なる材料及び形状の熱応答性	21

	ページ
附属書 C（規定）温度変化率 dT_R に対する高温試験温度と低温試験温度との推奨の組合せに適用可能な 温度許容差 $\pm\sigma_T$ を示す表（試験 Nb）	22
参考文献	28
解 説	29

まえがき

この規格は、産業標準化法第 16 条において準用する同法第 14 条第 1 項の規定に基づき、認定産業標準作成機関である一般財団法人日本規格協会（JSA）から、産業標準の案を添えて日本産業規格を改正すべきとの申出があり、経済産業大臣が改正した日本産業規格である。これによって、**JIS C 60068-2-14:2011** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

白 紙

環境試験方法—電気・電子—

第 2-14 部：温度変化試験方法（試験記号：N）

Environmental testing—Part 2-14: Tests—Test N: Change of temperature

序文

この規格は、2023 年に第 7 版として発行された IEC 60068-2-14 を基に、技術的内容及び構成を変更することなく作成した日本産業規格である。

なお、この規格で点線の下線を施してある参考事項は、対応国際規格にはない事項である。

1 適用範囲

この規格は、周囲温度の変化が供試品に及ぼす影響を分析するために、規定の周囲温度の変化を伴う試験について規定する。

注記 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

IEC 60068-2-14:2023, Environmental testing—Part 2-14: Tests—Test N: Change of temperature (IDT)

なお、対応の程度を表す記号“IDT”は、ISO/IEC Guide 21-1 に基づき、“一致している”ことを示す。

2 引用規格

次に掲げる引用規格は、この規格に引用されることによって、その一部又は全部がこの規格の要求事項を構成している。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS C 60068-2-1 環境試験方法—電気・電子—第 2-1 部：低温（耐寒性）試験方法（試験記号：A）

注記 対応国際規格における引用規格：IEC 60068-2-1, Environmental testing—Part 2-1: Tests—Test A: Cold

JIS C 60068-2-2 環境試験方法—電気・電子—第 2-2 部：高温（耐熱性）試験方法（試験記号：B）

注記 対応国際規格における引用規格：IEC 60068-2-2, Environmental testing—Part 2-2: Tests—Test B: Dry heat

3 用語及び定義

この規格で用いる主な用語及び定義は、JIS C 60068-2-1 及び JIS C 60068-2-2 による。